



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



5月号



校長室の窓から手を伸ばすと触れるくらいのところに、桜の木があります。ついこの間までは、窓一面が淡い桜色で埋め尽くされていましたが、いつの間にか、葉のさわやかな緑色と澄んだ空の青色に変わっていました。初夏がそこまで来ていることを窓の景色から感じることができます。



朝、出会う人たちに、笑顔で「おはようございます」とあいさつすることを心がけています。すると、「笑顔で」「元気よく」「小さな声で」「恥ずかしそうに」「礼儀正しく」「目線だけで」、．．．たくさんの「おはようございます」が返ってきます。時には、私より先に、遠くから声をかけてくれることもあります。

「自分からすすんで 笑顔で あいさつ」これは小学校のおやくそく、ではなく、ある大手企業のスローガンです。「あいさつというものは、いわばおたがいの毎日の暮らしの潤滑油とでもいった尊い働きを果たしているのである。」これは、経営の神様といわれた松下幸之助さんの言葉です。そして、南林間地区あいさつ運動推進委員会では、「あいさつは、人と人との絆を深め、街を一つの家族にするチカラがあります。」と、あいさつのすばらしさを伝えています。

子どもから大人まで、すべての人に大切な「あいさつ」。明日から「笑顔に満ちたあいさつ」が南林間小学校に、もっと響きあうように、私もあいさつを続けていきます。

(校長 板坂 和明)



「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」等、それらあいさつの言葉には、自分の心を開き、そして相手の心も開きその心に近づける素敵なパワーが秘められていると思います。あいさつなくして人間関係ははじまりません。秘められたパワーを感じながらあいさつをすることが、新たな大切な一歩を踏み出しているということを子どもたちに伝えていけたら嬉しいです。

今日も明日も、笑顔で元気に「おはようございます」から始まる一日を、「ありがとう」「ごめんね」を心から言える日々を、子どもたちと一緒に過ごしていきたいです。

(教頭 小林 美紀)